

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成19年11月1日(2007.11.1)

【公表番号】特表2003-514842(P2003-514842A)

【公表日】平成15年4月22日(2003.4.22)

【出願番号】特願2001-539421(P2001-539421)

【国際特許分類】

A 6 1 K 9/12 (2006.01)

A 6 1 K 47/06 (2006.01)

A 6 1 K 47/24 (2006.01)

A 6 1 K 47/26 (2006.01)

A 6 1 K 47/28 (2006.01)

A 6 1 K 47/42 (2006.01)

A 6 1 P 27/16 (2006.01)

A 6 1 K 31/137 (2006.01)

A 6 1 K 31/573 (2006.01)

A 6 1 K 31/7048 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 9/12

A 6 1 K 47/06

A 6 1 K 47/24

A 6 1 K 47/26

A 6 1 K 47/28

A 6 1 K 47/42

A 6 1 P 27/16

A 6 1 K 31/137

A 6 1 K 31/573

A 6 1 K 31/7048

【手続補正書】

【提出日】平成19年8月28日(2007.8.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】以下の過程を含む哺乳動物のエウスタキオ管の管腔の開放及び圧力平準化作用を増大及び強化する方法：

一又は複数の脂質及び一又は複数の延展剤であって、該脂質と該延展剤を全て粉末の形態にあるコレステリルエステル、リン脂質、炭化水素、及びタンパク質から成る群から選択するもの、中耳炎の処置に有効な治療活性剤、及び該脂質、該延展剤及び該治療活性剤の全てが不溶性である一又は複数のフルオロカーボン噴射剤の混合物であって、該混合物の全質量に基づいて、該脂質が約80～99.5質量%の量で存在し、かつ該延展剤が約0.5～約20質量%の量で存在し、ここで、治療活性剤と組み合わせた脂質結晶の混合物が形成される、混合物を製造する過程；

該脂質結晶の混合物の投与量を、哺乳動物の外部鼻口を通してエアロゾルとして投与する過程；

この場合、該混合物から噴射剤が蒸発し、該脂質結晶がエウスタキオ管の管腔組織と接

触してその上に沈積し、その上に非晶質の延展したフィルムを形成して、該管の開放圧力を有効に減少させる。